

第5学年 国語科学習指導案

児童 1組 男子13名 女子9名 計22名
指導者 小林 久美子

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」(光村図書5年下)

2 単元の構成

(1) 教材について

本教材「ニュース番組作りの現場から」は、小学校第5学年及び第6学年の「C読むこと」の内容(1)イ「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」オ「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」を受け、「文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られているかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。」「伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。」ことを目標としている。

本教材は、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」の2つの教材で構成されている。「ニュース番組作りの現場から」では、番組の作り方に関する情報提供のみでなく、大事な事柄を時系列に沿って注意しながら読み取る、そのことを生かして、「工夫して発信しよう」では、話題選定・取材方法・原稿作成などといった活動を通して、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めさせたい。

(2) 児童について

7月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ① 国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 45%
- ② 説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 50%
- ③ 説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。 63%
(「見つけることが多い」も含む)
- ④ 読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) 72%
- ⑤ 自分の考えを発表できますか。(「できるほう」も含む) 59%

アンケートの結果を見ると、6割の児童が自力で問題を解決できる。また、自分の考えを発表するのも6割近くの児童ができる。しかし、自分の答えに自信をもてず積極的に発言できない児童がいるため、みんなの前で認める機会を増やし自信につなげたい。

国語の学習に対しては、文章量も多くなってきたために、文章を読み取るのが大変だと思う児童もいるが、説明文の学習を通して、友達の考えや教師の説明、板書などから課題の答えを見つけることができるようになったという回答もある。さらに、長い文章になると読み取ろうとする意欲をもてないということから、音読や視写などの学習を通して意欲的に学習できるようにしていきたい。文章構成については、重要語句や接続語などに着目してとらえるようになってきているが、内容を的確に押さえ要旨をとらえることは、まだ不十分である。そこで、内容を的確に読み取るため板書の工夫や学び合いなどの活動を取り入れる。さらに読み取ったことを生かし、意欲的に自分たちで何をどのように伝えればよいのか話し合い、相手に分かりやすい文章で発信できるように工夫させたい。

(3) 指導にあたって

第1次の「つかむ」段階では、学習の見通しをもって、ニュース番組作りの特徴に気づき、特集についての話題を広げるように考えを引き出す。また、説明文の学習の後、実際に情報を発信する活動をすることを知らせ、意欲付けを図りたい。

「ふかめる」「まとめる」の段階では、時系列に気を付けながら、「一人学び」で教材文全体を表に整理し、それをもとに、特集とは何か、番組作りの過程で大事な点や気を付けることは何かを学び合わせ読みを深めたい。また、最後の段落に着目させ、要旨をしっかりと押さえさせたい。

「ひろげる」の段階では、読み取ったことをもとに、誰にどんな目的で特集を報道するのかが明らかになるように、企画をグループで話し合いたい。

第2次の「つかむ」の段階では、情報発信までの手順を確認し、グループごとに前時の学習をもとに企画会議を開いて何をどのように発信するのか確認させたい。

「ひろげる」の段階では、第1次で学習したことをもとに、取材・編集など実際にさせたい。

「まとめる」の段階では、発信の意図や工夫しているところを明らかにして、グループで発

表させ、グループの発表で工夫がみられるところを学ばせ、振り返りカードをもとに単元全体の学習について自己評価をしたい。

3 単元の目標

◎ 文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。

◎ 伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

<国語への関心・意欲・態度>

○ ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。

<読む能力>

○ テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理し要旨をまとめることができる。[オ]

<書く能力>

○ 目的や相手を意識し、書く必要がある事柄を整理して書くことができる。[イ]

○ 集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書くことができる。[エ]

<言語について知識・理解・技能>

○ 文末表現に着目し、段落相互の関係を理解することができる。オ [ア]

○ 漢字や言葉の意味・使い方を理解することができる。ア [ア]

4 単元の指導計画と評価規準 (全14時間 読むこと8時間 書くこと6時間)

第1次 「ニュース番組作りの現場から」(8時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準<評価方法>		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語について 知識・理解・技能
つかむ	1	○ 学習の見通しをもつ。 ・ ニュース番組作りの特徴に気づく。	・ 題名に関心をもち、進んで段落のつながりを考えて読み取ろうとしている。 ・ ニュース番組に対する関心を高めようとしている。 <発言・態度>	・ 全文を読み、感想をまとめている。 (分かったことと疑問等) <発言・ノート>	・ 新出漢字や語句について正しく理解している。 <発言・ノート>
ふかめる・まとめる	2	○ ニュース番組の特集ができるまでの様子を読む。 ・ ニュースの番組作りの導入や話題選び、取材の過程を読み取る。 ・ 書かれている内容を表に整理する。	・ ニュース番組作りの話題選びや取材の過程を読み取るようとしている。 <発言・自己評価>	・ ニュースを人々に伝えるまでの過程を表に整理しながら、自分の力で読んでいる。 <発言・シート>	・ 時間の言葉に着目して、過程を表にしている。 ・ 「放送〇〇日前」 ・ ニュース番組作りの話題選び、取材方法を理解している。 <発言・シート>
	3	○ ニュース番組の特集ができるまでの様子を読む。 ・ ニュース番組作りの撮影、放送の過程を読み取る。	・ ニュース番組作りの撮影、放送の過程を読み取ろうとしている。 <発言・態度・自己評価>	・ ニュースを人々に伝えるまでの過程を表に整理しながら、自分の力で読んでいる。 <発言・シート>	・ 時間の言葉に着目して、過程を表にしている。 ・ 「放送〇〇日前」 ・ 放送に関する用語 <発言・シート>
	4 本時	○ 「特集」とは何か、どんなきっかけで作られるのかを読み取る。	・ 「ニュース」と「特集」の違いや「特集」になったきっかけを意欲的に発表しようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・ 「特集」とは何かを読み取っている。 <発言・シート>	・ 「特集」とは何かを理解している。 「ニュース」 「特集」 「関心」 <発言・シート>

	5	○ 番組作りの過程で、報道スタッフの工夫をまとめる。 (話題選び～本番の確認)	・番組作りで、工夫をまとめようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・番組作りでの各過程で報道スタッフの工夫を正確に読み取っている。 <発言・シート>	・番組作りの各過程をもとに、報道スタッフの工夫を見つけている。 ・「話題」 ・「取材」 ・「工夫」 <発言・シート>
	6	○ 番組作りの過程で、報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取る。 (インタビュー～放送)	・番組作りの過程で、報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取ろうとしている。 <発言・態度・自己評価>	・番組作りの過程で、報道スタッフの工夫をまとめ、願いを正確に読み取っている。 <発言・シート>	・各過程をもとに、大事な点を見つけている。 ・「撮影」「編集」 ・「放送」 ・「放送用原稿」 ・「願い」「ねうち」 <発言・シート>
ひろげる	7	○ 自分がどんな特集をしたいかを考え話し合う。	・どんな話題を取り上げたいのか、目的意識、相手意識を考え発表しようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・目的意識をもって話題を書いている。 <発言・ノート>	・「特集」という言葉を振り返りながら話題を書いている。 <発言・ノート>
	8	○ 「わたしの特集」というテーマで企画書を書く。	・読み取ったことを生かしてどんな特集にするのか考えようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・目的をもって、「わたしの特集」の企画書を書いている。 <発言・ノート>	・「どんな話題を」「何のために」「だれに伝えたいのか」がよく分かるように文を書いている。 <発言・ノート>

第2次 「工夫して発信しよう」(6時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準<評価方法>		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語について 知識・理解・技能
つかむ	1	○ 情報発信までの手順を確認する。	・「ニュース番組の現場から」の要旨から、情報を発信することの魅力をもう一度確認し、意欲を高めようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・目的に応じて情報発信する計画を立て、企画書を書いている。 <発言・ノート>	・情報発信までの手順をもとに、内容に立ち返りながら考えている。 <発言・ノート>
	2	○ 同じ内容の特集ごとにグループを作り前時の学習をもとに企画会議を開く。	・自分たちの力で情報を発信していきたいという願いをもととしている。 <発言・態度・自己評価>	↓	↓

ひろげる	3	○ 情報発信の準備をする。 ・取材をする。	・誰に何を伝えたいのか確認をして、意欲的に取材をしようとしている。 <発言・態度・自己評価>	・取材メモを活用して、取材している。 <発言・ノート>	・身につけた言語能力を生かして活動している。 <発言・ノート>
	4	○ 情報発信の準備をする。 ・「編集して伝える」を参考に編集する。	・伝えたいことを中心に構成メモや放送原稿を意欲的に書こうとしている。 <自己評価>	・取材した内容を構成メモに書いている。 ・放送原稿を書いている。 <ノート>	・分かりやすい言葉や結論・理由の順で述べる文章など、説明文で学習したことを生かした放送原稿にしている。 <ノート>
まとめる	5	○ 情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する。	・情報の発信や受信について考えを深めようとしている。 <自己評価>	・聞き取りメモをもとに工夫されている点を中心に交流している。 <聞き取りメモ>	・言葉の使い方について気を付けている。 <自己評価>
	6	○ 自己評価をもとに情報の発信や受信について話し合う。	・振り返りカードをもとに、情報の発信や受信について話し合おうとしている。 <自己評価>	・振り返りカードをもとに、発信者だけでなく受信者としての気持ちの変化も書いている。 <振り返りカード>	・特集作りを通して知った言語を生かして振り返りカードに記入することができている。 <振り返りカード>

5 本時の指導

(1) 目標

「特集」とは何かを知り、なぜ富士山の噴火に備えた訓練が特集になったのかを読み取る。

(2) 指導にあたって

仮説1 〈板書構成の工夫〉に関わって

課題解決の見通しをもたせるため、学習の流れが分かるような板書にする。また、「特集」という言葉に着目し、課題解決できるような板書の工夫をする。

仮説2 〈学び合い〉に関わって

「一人学び」で、「特集」「関心」の言葉に着目させながら、富士山の噴火に備えた訓練が特集になったことを読み取り、特集がどのようにして作り始められ、どのような話題にすればよいのかを「学び合い」で確かめる。

仮説3 〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

理由・根拠をもって課題に対する答えを見つけることができることと、友達の良いところを理由づけしながら、振り返りカードに書いたり感想発表をしたりすることで、意欲を高める。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	留意点 評価 (評価方法)
つかむ	1 前時の学習を確認する。 ・表をもとにニュース番組ができるまでの過程を確認する。				・留意点 評価 (評価方法) ・前時の学習を振り返り、ニュース番組ができるまでを確認し、課題につなげるようにする。
7分	2 学習課題の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">なぜ富士山の噴火に備えた訓練が特集になったのだろう。</div>				

(4) 主な発問と板書計画

<p>○ 「ニュース番組の現場から・工夫して発信しよう」(4/14時間目)</p> <p style="text-align: right;">指導者 小林 久美子</p>	
<p>本時の指導</p> <p>(1) 目標 「特集」とは何かを知り、なぜ富士山の噴火に備えた訓練が特集になったのかを読み取ることができる。</p> <p>(2) 指導にあたって</p> <p>仮説1 〈板書構成の工夫〉に関わって 課題解決の見通しをもたせるため、学習の流れが分かるような板書にする。また、「特集」という言葉に着目し、課題解決できるような板書の工夫をする。</p> <p>仮説2 〈学び合い〉に関わって 「一人学び」で、「特集」「関心」の言葉に着目させながら、富士山の噴火に備えた訓練が特集になったわけを読み取り、特集がどのようにして作り始められ、どのような話題にすればよいのかを「学び合い」で確かめる。</p> <p>仮説3 〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって 理由・根拠をもって課題に対する答えを見つけることができることと、友達の良いところを理由づけしながら、振り返りカードに書いたり感想発表をしたりすることで、意欲を高める。</p>	
<p>○ (ふかめる) ○ ニュースと特集の違いはな んですか。</p> <p>○ 今日の記事は、何ですか。</p> <p>○ (つかむ) ○ どのようにしてニュース番 組ができましたか。</p> <p>○ なぜ富士山の噴火に備えた 訓練を特集したのですか。</p> <p>○ 学習の振り返りをしましよ う。</p>	<p>主発問等</p> <p>◎ 形式段落①②を読んで特 集にした理由をまとめま しよう。</p> <p>◎ なぜ富士山の噴火に備えた 訓練を特集したのですか。</p> <p>○ なぜ「特集」として伝えるこ とになったのかをまとめま しよう。</p> <p>○ (まとめる) ○ 学習の振り返りをしましよ う。</p>
<p>まとめ</p> <p>富士山の噴火に備えた訓練は、多くの人の関心を呼ぶ話題と考えたから特集にした。</p>	<p>(板書計画)</p> <p>ニュース番組の現場から 清水 建宇</p> <p>課題 なぜ富士山の噴火に備えた訓練が特集になっ たのだろう。</p> <p>ニュース・・・大勢の人に伝えられるもの 新聞やテレビ ラジオ インターネット</p> <p>特集 ・時間をかけて詳しく取材 ・多くの人が関心をもちそうな話題 関心をもってもらいたい話題 見る側 作る側</p> <p>富士山の噴火に備えた訓練 初めてで驚く 理由 ・多くの人の関心を呼ぶ話題だから ・訓練が初めてで驚いたから</p>